

提出日： 2023 年 6 月 5 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
経済学部	教授	辻 爾志

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	<p>1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日</p> <p>2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日</p> <p>3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日</p> <p>4. 2022年9月21日 ～ 2023年3月31日</p> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; text-align: center; margin: 0 auto;">1</div>
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	<p>本研究促進期間制度を利用した期間中は、金融・資本市場に関する計量的・実証的研究を中心に研究を進めました。</p> <p>期間中は、自己の専門である金融論、ファイナンス関係を中心に研究を進め、導出した研究結果を順次論文に取りまとめるなどの形で研究を進展させました。</p> <p>また、上記の自己の専門分野に限定せず、広く経済に関わる事項等に関してサーベイ的な研究も行う等、今後の研究の発展に資するような研究活動も実施しました。</p> <p>なお、今回の研究期間中はそのような形態はとっておりませんので、海外活動補助費は受給しておりません。</p>
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	<p>上記のように、自己の専門である金融論、ファイナンス関係を中心に関連データを用いた研究を進展させ、導出した研究結果を順次論文に取りまとめるなどの形で研究成果の発表へと繋げました。</p> <p>その結果、本研究促進期間制度の利用期間中に2本、本研究促進期間制度の利用期間終了直後に2本の計4本の査読付論文として、研究成果を公刊しました。</p>
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を進展させる計画か、ご記入ください。
	<p>上記のような研究は、内容・スタイルの面で幅広く周辺・関連事項を調査・深掘りできる研究であると考えられることから、未着手の事項及び周辺・関連事項に関する研究をさらに進めるべく、本研究促進期間制度の利用期間終了後の2023年度以降も、引き続き上記のような研究及びその周辺も含む発展的事項に関する研究を継続実施し、自己の研究をさらに発展させるべく努力する計画です。今後も継続・持続性を確保しつつ、本学において自己の研究をさらに発展させられるよう切に願っております。</p>